

## 医療情報室

### 概要

医療情報室は、国立医療施設では初めて病院組織の正式な室として、平成14年3月1日の開院日に発足した。

室員は2名で、室長大原が、全体を統括し、室員相澤が業務を遂行している。併任室員として、放射線診療部岡田が主に画像関係を統括している。

「電子カルテ」システム運用の医療施設として、この一年間は大小の障害発生はあったものの、紙運用への切り替えが行われた障害は3回のみであり、直接的に患者の安全が損なわれた障害は無かった。このことは、職員一丸となって情報システムを支えていただいた賜物であり、感謝したい。システムの常駐スタッフとSEの方々にも感謝する。

今後も、初心を忘れず、慢心せず、情報システムの円滑運用に努力したい。

### 活動内容

活動内容は単なる病院情報システムの維持管理に留まらず多岐にわたり、medical science としての医療情報学に取り組んでいる。特に、相澤室員は、「電子カルテ」と連動した他に類を見ないデータベース「成育長期診療データベース」構築に精力的に取り組み、国立大阪病院、国立長崎医療センター、国立三重中央病院などとも連携を図っている。

以下、この一年の活動を以下に記す。

#### (a) 国立成育医療センター病院情報システムの維持管理

- ア．情報システムの維持管理
- イ．電子診療録の管理
- ウ．院内向けHPの管理運営
- エ．各種マスタ管理
- オ．職員情報システムIDの管理
- カ．院内情報機器IPアドレス管理
- キ．インターネット環境のセキュリティを含む維持管理

#### (b) 成育医療長期診療DBの維持管理運用

- ア．臨床研究のためのデータ抽出
- イ．経営管理面の分析研究
- ウ．国立大蔵病院・国立小児病院の過去データの管理

#### (c) 成育医療ネットワークの維持管理

- ア．臨床データの収集
- イ．試用用HPの管理
- ウ．病名標準化

#### (d) サブセンター成育の運営管理

- ア．名簿作成
- イ．MLの運営管理（院長協議会・副院長協議会など）
- ウ．臨床データ収集システムの管理運営

(e) **成育医療関連情報の収集・発信**

- ア．院外向けHPの運営管理
- イ．国内外最新の成育医療に関する情報を収集し、全国成育医療関連施設に提供
- ウ．成育メールマガジンの発行

(f) **職員への情報研修・教育**

- ア．情報倫理・医療安全研修の実施

(g) **成育情報システムの紹介**

- ア．見学・視察への対応(のべ145施設/年)
  - 取材・インタビュー・対談など
  - 日本短波放送
  - NHKテレビおはよう日本
  - 日経ヘルスケア
  - フェーズ3
  - ばんぶう
  - 三田評論
  - 医療福祉チャンネル774

イ．講演(主な招待講演のみ掲げる)

- 厚生労働省・医療安全対策に関するワークショップ
- 富士通・医療戦略フォーラム
- 小児臨床検査研究会教育講演
- 国際モダンホスピタルショウシンポジウム
- 日本医療福祉設備協会教育研修会
- 医療材料データベースの説明会
- 医療業界の情報化についての説明会
- 厚生労働省・電子カルテ普及シンポジウム
- 埼玉医科大学卒後研修講演会
- 浜松赤十字病院院内講演会
- 自衛隊中央病院院内講演会

(h) **新しい医療情報技術の研究**

- ア．成育受託研究「成育コホート」の継続
- イ．情報システム導入のアウトカム
- ウ．医療施設原価計算

(i) **成育医療研究所との連携**

- ア．研究所情報システムとの連携

(j) **院外での研究・活動**

- ア．レセプト電算処理システム推進活動
- イ．病名・医療材料コードの標準化に向けての活動
- ウ．「保健医療ビジュアライゼーション事業」(経済産業省委託事業)